

平城宮跡資料館 平成26年度 秋期特別展

地下の木工簡学

申然而已身者今聞天地之道

会期

2014

年

10月18日〔土〕

～

11月30日〔日〕

展示期間

展示は3期に分けておこないます

I 10月18日〔土〕～10月31日〔金〕

II 11月1日〔土〕～11月16日〔日〕

III 11月18日〔火〕～11月30日〔日〕

入場無料～月曜休館

※11月3日・24日は開館。11月25日〔火〕は休館。

時間 9時～16時半 ※入館は16時まで

場所 平城宮跡資料館 企画展示室

ギャラリートーク 14時半

第I期 10月24日〔金〕

第II期 11月7日〔金〕

第III期 11月21日〔金〕

〔主催〕独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所

〔後援〕文化庁、国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所、奈良県教育委員会、奈良市教育委員会（申請中）
読売新聞社、近畿日本鉄道株式会社、奈良交通株式会社、株式会社南都銀行、木簡学会

地下の正倉院展

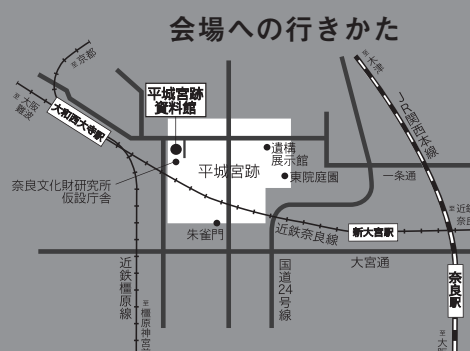
木簡を科学する

奈良文化財研究所では、平成19年度より秋期特別展『地下の正倉院展』を継続的に開催し、平城宮・平城京から出土した木簡の実物展示をおこなってきました。今年は、「木簡を科学する」と題して、これまでとはやや異なる切り口からの展示を試みます。

「発掘調査で出土した墨書のある木片」と定義づけられている木簡。これまでは、貴重な出土文字資料として、記された内容面に多くの関心が集中してきました。このため、木簡のモノとしての側面については、今まであまり注目されることはありませんでした。

そこで今回の『地下の正倉院展』では、木簡を、モノとして見つめる視点からご紹介したいと思います。具体的には、木簡に使われた木の種類や木取り、木簡を後世に伝えてゆくための保存処理の方法、考古遺物や木製品としての特質などに焦点を当てます。さらには、木簡学、木簡研究の最新の研究成果や将来的な姿にも迫ることを目指します。

これまでとは少し異なった観点から、木簡についてご理解を深めていただければ幸いです。



近鉄大和西大寺北改札口から
東へ徒歩10分

同時開催

埋蔵文化財センターの40年

奈良研 埋蔵文化財センター設立40周年を記念して、研究成果をふり返る写真パネル展を行います。